

一般質問

我が市政を問う!

鵜浦 昌也 (創生会)
市長の政治姿勢
移住・定住施策
DXの取り組み

菅野秀一郎 (創生会)
施政方針演述
陸前高田市における選挙の投票
指定管理者制度

大和田加代子 (創生会)
大学誘致
産業の振興と働く場の確保
関係人口の創出
今後の教育環境

伊勢 純 (日本共産党)
本市の防災・減災
人口減少時代の生産性向上策
自治会活動のサポート体制

大坪涼子 (日本共産党)
本市独自の物価高騰対策及び生活支援策の強化・拡充
本市の震災学習・民泊事業の今後
AIオンデマンド交通などの地域公共交通

藤倉 泰治 (日本共産党)
市長の政治姿勢
本市の財政調整基金
国民健康保険税の負担軽減
施政方針演述

佐々木良麻 (こつほく未来創生)
ウオーカブルシティ
大学誘致

木村 聡 (こつほく未来創生)
陸前高田市人口ビジョン及び第3期陸前高田市総合戦略の策定
陸前高田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度
施政方針演述



菅野秀一郎 (創生会)

電子投票の導入予定は

意見聞き選管で検討する



こちらから視聴できます

問 直近の国政選挙でアバッセにおける期日前投票の効果は。

答 参院選は1736人だったが、衆院選は2532人に増加。市民への認知度が高まった。

問 電子投票を導入する予定は。

答 市産業まつりで200人中195人が模擬投票アンケートに「良かった」と回答。今後、高齢者施設などでも行い、多くの体験者の意見を基に市選挙管理委員会などで検討を進める。

本丸公園の避難対策は

問 本丸公園に避難する際、市は暑さや寒さ対策用のテントを整備するが、仕様と管理体制は。



電子投票に使用される端末機

答 避難所に常備するテントとほぼ同等。備蓄倉庫を設置し、鍵の解錠は博物館、アバッセ、まちなか会などに協力を仰ぐ。夜間の対応は、消防署や消防団と協議している。

問 テント整備より、公園がらさらに高台方面への避難路整備が重要ではないか。

答 避難路整備も進めるが、屋外指定避難所も対象となる国の新制度を活用し、市の支出を抑えて避難用備蓄品整備も進めていく。



鵜浦昌也 (創生会)

次期市長選の考えは

信任得られるよう励む



こちらから視聴できます

問 市長の現任期が一年を切った。この三年間を自己評価した上で、次期市長選についての考えは。

答 評価については自分が行うのではなく、市民に一年後、より高い評価をしてもらうよう、引き続き全力で取り組む事が大切だと思っている。市長選への出馬については「白紙」ではなく、市民の信任が得られるよう、残りの任期を精一杯仕事に取り組んでいきたい。



議場での市長席

問 新年度予算の目玉は。

答 主なものは子育て支援、そして地域産業の振興に向けた産学連携に関する取り組みを始めることだと考えている。しかし、それ以外の福祉、教育、産業振興、コミュニケーションづくり、まちづくり、交流人口の拡大なども前年に引き続き進めていく。

国政に何望む

問 総選挙を経て、今後の国政に望むことは。

答 東日本大震災から15年を迎え、被災者や被災地への支援を「時間が経ったからやめる」「既に予算をたくさん使ったからやめる」ではなく、第3期復興創生期間でも、必要な支援はしっかりと国の責任を持って行ってほしい。



大和田加代子

大学誘致の効果は

持続可能な発展につながる



こちらから視聴できます

問 本市への大学誘致の効果は。

答 学生でまちが賑やかになり、学生アルバイトで市内飲食店が助かる。大学や本市全国の企業が連携して活動することにより、産業や研究開発などの拠点となることなどが期待できる。

問 子どもたちへの影響は。

答 本市には高校卒業後の学校がないので、身近なアドバイザー的な存在がない。大学生がこのまちで活動することにより、進学や職業選択、大学生としての生活の在り方、キャリアの積み方など、学ぶ点が多いと思う。

問 本市と東京大学生産技術研究所と同大学院農学生命科学研究科で先端技術による地方創生に関する連携協力は。



東大及び同大学院との協定締結後に行われたピーカンナツツの植樹

答 協定を結ぶとこのことだが、大学の研究者、研究機関が本市にあることの効果は。日本の生産技術は欧米に比べて遅れている。水産業で言えば沿岸漁業の省人化機械など、現場に即した開発が取り残されている。中央大学、東京大学などの研究者がその生産現場を見て、課題解決のための指導や研究開発を行うことは、本市だけではなく、この地域全体の持続可能な発展につながる。